

月みれば千々に物々
つぎ返しの運動

悲しけれ我身ひとつ

秋にはあらねど

秋の月を眺めてっていると、様々と思い起こされ物悲しいことです。
秋はわたしひとりだけにやって来たのではないのですが。

(百人一首 二三番 大江千里)

中一三五